



おおば りょうた
方城中2年 || 大場 亮太さん

「僕の将来の夢」

「主な内容」 「うまい」。こう言って笑顔で食べてくれる姿を見ると、とてもうれしくなる。自分の作った料理を食べてもらえる。僕はそんな仕事をしたい。そう、僕の夢は「料理人」だ。僕は小さいころから「うまい料理」を食べるのが好きで、その料理姿を見るのも好きだった。僕の尊敬する料理人は3人いる。1人目は周富徳さん、2人目は道場六三郎さん、3人目は自分の兄だ。料理する兄の姿は

目標であり、あこがれでもある。将来僕は、自分の店を持ち、そこを有名にして、各国を飛び回る世界一の料理人になりたい。3秒に1人、今でも世界のどこかで命が亡くなっているという。その瞬間も子どもたちが倒れている。そんな食糧難で苦しむ世界中の人たちに、僕の料理で「生きていく幸せ」をかみしめてもらいたい。みんなを笑顔にしたい。そのためには、どんな苦労も惜しまないつもりだ。



「夢に向かって」
ここで発表したように料理人を目指し、がんばりたいと思います。



なかむら ふみ
金田中2年 || 中村 優里さん

「合唱コンクールで生まれる信頼と絆」

「主な内容」 いまニュースでは、いじめで中学生が自殺するという悲しい事件が多く流れています。亡くなった命は決して取り戻せません。わたしたちは今自分が生きていることのすばらしさをもっと自覚するべきです。わたしは、金田中の合唱コンクールのような学校行事がもっと多くあれば、このような事件も減るのではないかと思います。生徒一人ひとりが積極的に合唱に参加し、心を一つにして

歌に気持ちを込める合唱コンクールは、金田中全体が一致団結する取り組みです。朝、昼、放課後の練習を重ねることに、互いの信頼や絆が深まっていきます。励まし、支え合う合唱コンクールでは、一人ひとりが「かけがえない存在」だと感じる事ができます。このように、多くの中学生が学校生活から命の大切さを学ぶことで、自殺という悲しい事件が二度と起こらないで欲しいと願っています。



「緊張しました」
会場の真剣な視線がひしひしと伝わってきて、緊張しました。



ながとみ こうへい
赤池中2年 || 永富 公平さん

「環境を守る」

「主な内容」 僕たちは学校で、A.R.Tと題し、昨年度から川の環境問題に取り組んでいます。河川敷の清掃や水質調査を進めるなかで、改めて川の大切さに気づかされました。川を汚している原因の80%以上が、普段何気なく流している生活排水でした。環境破壊は、人間が自分本位で暮らしてきたツケが回ってきた結果だと思っています。生物や自然とずっと付き合っていくために、環境を守ることがはた

もが当たり前のようにとらえるべき問題だと思っています。何もしないで何百年も同じ状態を保てる訳がありません。小さな事から、小さな努力が、環境を守る第一歩につながり、その努力が自然が応え、わたしたちが健康で幸せな生活が送れるようになるのだと思います。A.R.Tの活動で学んだ「地球の視野で考え、自分の地域で活動すること」をこれからも絶えず意識していきたいと思っています。



「ホッとしました」
体調が万全ではなかったのですが、無事に終えてホッとしました。

各校代表堂々と

第1回 福智町わたしの主張大会 主催/福智町青少年育成町民会議

次代を担う子どもたちが、未来に向けての夢や社会への意見、日常生活の中で感じたことなど、自分の気持ちを素直に表現した「わたしの主張大会」。12月3日に公民館金田分館で開かれたこの大会で、町内全8校の代表者が堂々と主張を發表しました。初開催となる今回、会場での発表内容から、福智の子どもの思いや考え、希望に触れてみることにしましょう。

この日、青少年育成町民会議のシンボルマーク募集で、デザインが採用された近藤真未さん(赤池中3年)に最優秀賞が渡されました。太陽に、ふくちの「ふ」と「子」の文字があらわれた斬新なデザインです。



福智町青少年育成町民会議が主催した「わたしの主張大会」。町内の小学校5校、中学校3校、計8校の代表者が会場で力強く主張した。この大会は審査を経て、田川地区大会・福岡県大会・全国大会へとつながっていく取り組み。発表をじっと見守る会場には緊張感が漂っていた。